



熱戦！ビブリオバトル県中地区予選会



8月31日(土)に、郡山市労働福祉会館で、第10回ビブリオバトル福島県大会県中地区予選会が行われました。台風の接近に伴い開催が心配されましたが、当日は、晴れ間も見える天候となり、発表者16名に、応援者・観戦者を合わせ、約100名という多くの方が参加し、白熱したビブリオバトル大会となりました。ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。

今回の予選会で、中学生・高校生の部で優勝した2名は、10月12日に県立図書館で行われる県大会に出場します。ご健闘をお祈りいたします。

出場の様子 高校生9名 中学生7名

閉会式 より



★ 高校生予選 ★



★ 中学生決勝 ★



★ 高校生決勝 ★



★ 表彰式 ★

| | |
|--------------------|-------------------------|
| 《 入賞者 おめでとうございます 》 | |
| 高校生の部 | 優勝 あさか開成高等学校 横田 塔吾 さん |
| | 準優勝 学校法人石川高等学校 薄井 莉子 さん |
| 中学生の部 | 優勝 石川義塾中学校 阿部 琴美 さん |
| | 準優勝 郡山市立緑ヶ丘中学校 原田 陽仁 さん |

★ 参加者の声より ★

- それぞれの発表者が自分の好きな本のよさを自分の言葉でアピールしているところがよかったです。
- 5分間の発表の中で、内容や伝えたい事などを、聞いている人にうたえていて、相当練習したのではと感じました。
- これからいろいろな本にも出会いたいと思うし、人にも紹介したいと思うので参考になりました。読みたくなった本もあったので、来てよかったと思いました。
- 会場全体が楽しんでいる雰囲気心地よかったです。
- かなりレベルの高い発表が多く、面白かったです。
- ビブリオバトルの観戦は初めてです。とても面白かったです。それにしても、質問にすぐに答えることができる発表者のみなさんには驚きました。
- ボランティアの皆さんの働き方に好感を持ちました。
- ボランティアの進行が素晴らしく感動しました。
- もっとビブリオバトルが広がり活性化してほしいです。

今回のビブリオバトルでは、ボランティア9名の皆さんが進行や受付などの運営をしてくださいました。おかげさまでとても和やかな雰囲気のビブリオバトルとなりました。ありがとうございました。

観戦者大募集!

とんたんと観戦無料!
定員150名

第10回
ビブリオバトル福島県大会
～中学生の部・高校生の部～

日時: 令和6年10月12日(土) 13:10~16:40 (受付12:50)

会場: 福島県立図書館 講堂 福島市森合字西登山1番地

※ 観戦申し込み、なお、定員に達していない場合は当日の申込みも可也。
※ 募集または2次元コードのいずれかで申し込みください。

主催: 福島県教育委員会

後援: 読字文化推進会議、読書新聞社 イラスト: ざしきわらし

この事業は「福島県読書文化振興基金」により実施されています。

第10回ビブリオバトル福島県大会観戦者募集!

地域学校協働研修会 in たまかわ文化体育館



2024. 8. 1

8月1日（木）、24名が参加し、「地域学校協働研修会」を開催しました。

講義・演習では、玉川村地域おこし協力隊の黒木光治氏から、「小スペース小コストでできる！運動・室内遊び」と題して、室内でできる運動・遊びについて紹介していただき、実際に体を動かしたり、体験をしたりしました。放課後子ども教室や児童クラブによっては、広いスペースがないところもあります。アイデア一つで子どもたちも支援員のみなさんも楽しい活動になることが分かりました。また、新聞紙や紙コップ、風船など準備しやすい物を使って、盛り上がる活動ができることも分かりました。さらに、準備から後片付けまで子どもたちが話し合っていくことも、大切な学びの場であることを教えていただきました。



★家庭でもできる遊びを！★



★紙コップでピング★



★ボールでカーリング★

グループワーク・講義では、『「多様性を支援する」～安心して過ごせる居場所づくり～』と題して、県中教育事務所指導主事 佐藤章人より、多様性とは「全部ちがう」という思考で、一人一人の人間性を尊重することが大切であり、一人一人を大事にする支援員や先生方の姿を子どもたちは見て学んでいるという話がありました。グループワークでは、それぞれの事例を話し合い、情報を共有しました。



参加者の声より

- 低コストで充実した遊びができると知り、今後の活動の幅が広がりました。
- 雨の日でも室内で遊んだり、自分たちでアレンジしたり、大人も夢中になったりする遊びを教えてください参考になりました。
- 全ての人がそれぞれ違うという視点で事業を進めていきたいです。
- 多面的な見方が必要です。学校や様々な機関と連携が必要だということも分かりました。

《お詫びと訂正》

けんちゅう with 第29号でご紹介しました、文部科学省総合教育政策局 CS マイスターの安齋宏之先生の役職とお名前が間違っておりました。（制作局→政策局、弘之→宏之）お詫びと訂正をいたします。

発行・編集 福島県教育庁県中教育事務所総務社会教育課

TEL:024-935-1488 HP <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70210a/>

福島県
教育委員会
公式 note

